

学術変革領域研究(A)【臨界期生物学】脳の若返りによる生涯可塑性誘導－iPlasticity－臨界期機構の解明と操作

2021年度 領域班会議 (zoomによるオンライン会議)

1月13日(木) 第1日目 (発表15分 質疑応答5分)

9:00 ~	9:05	はじめに	狩野 方伸	領域代表	
9:05 ~	9:25		ヘンシュ貴雄 (牧野祐一)	東京大学	Early adversity critical period for male attention deficits by sleep loss and imbalanced ACC dopamine signaling.
9:25 ~	9:45		坂口 昌徳	筑波大学	成体脳ニューロン新生の臨界期と操作
9:45 ~	10:05		能瀬 聡直	東京大学	運動経験に依存した中枢回路再編成の臨界期の解明
10:05 ~	10:25		廣川 信隆	東京大学	視覚野の臨界期可塑性における分子モーター-KIFs の機能の解明
10:25 ~	10:45	休憩 (20分)			
10:45 ~	11:05		宮田 真路	東京農工大学	臨界期を決定するペリニューロナルネット成熟機構の解明
11:05 ~	11:25		鈴木 崇之	東京工業大学	ショウジョウバエ神経回路における軸索の縮退と臨界期
11:25 ~	11:45		内ヶ島 基政	新潟大学	臨界期を特徴づけるスパイン構造可塑性の分子動態の解明
11:45 ~	12:05		福田 敦夫	浜松医科大学	母体ストレスとGad1異常が惹起するGABA-アセチルコリン神経回路
12:05 ~	12:45	昼休憩 (40分)			
12:45 ~	13:45	基調講演	井ノ口 馨	富山大学	アイドリング脳の活動と機能
13:45 ~	14:05		竹田 育子	名古屋大学	ミクログリアによる異種感覚の可塑性構築機序
14:05 ~	14:25		上川内 あづさ	名古屋大学	ハエ歌識別学習を用いた臨界期可塑性の機構解明への挑戦
14:25 ~	14:45		高橋 琢哉	横浜市立大学	AMPA受容体のTranslational medicine
14:45 ~	15:05		久保 怜香	広島大学	小脳への視床-中脳領域を介した体性感覚信号経路の解析
15:05 ~	15:25	休憩 (20分)			
15:25 ~	15:45		今井 猛	九州大学	ニューロン内競合に基づく神経突起リモデリングの分子機構
15:45 ~	16:05		橋本谷 祐輝	同志社大学	グルタミン酸/GABA共放出シナプスにおけるシナプス可塑性のメカニズム
16:05 ~	16:25		中川 直樹	国立遺伝学研究所	オルガネラ動態から紐解く発達期の臨界期回路再編メカニズム
16:25 ~	16:45		村越 秀治	生理学研究所	光応答性CaMKIIによるiPlasticityの分子メカニズムの解明
16:45 ~	17:05		岩里 琢治	国立遺伝学研究所	臨界期のバレル野回路精緻化を駆動する神経活動
17:05 ~	17:20	総合討論			

学術変革領域研究(A)【臨界期生物学】脳のリターンによる生涯可塑性誘導－iPlasticity－臨界期機構の解明と操作

2021年度 領域班会議 (zoomによるオンライン会議)

1月14日(金) 第2日目 (発表15分 質疑応答5分)

9:00 ~ 9:20	狩野 方伸	東京大学	発達期小脳のシナプス刈り込みの臨界期の解明：カルシウム依存的な転写因子の役割
9:20 ~ 9:40	宮田 麻里子	東京女子医科大学	視床プレシナプス機能の発達
9:40 ~ 10:00	大木 研一	東京大学	臨界期における大脳皮質神経回路の多様性形成メカニズムの解明
10:00 ~ 10:20	坂野 仁	福井大学	マウス嗅覚系における臨界期と刷り込み記憶
10:20 ~ 10:40	休憩 (20分)		
10:40 ~ 11:00	辻 晶	東京大学	The role of experience in early speech sound discrimination: Pilot data
11:00 ~ 11:20	渡部 喬光	東京大学	Brain-state-dependent neural stimulation to control neural dynamics behind typical and atypical human cognition
11:20 ~ 11:40	上野 将紀	新潟大学	脳脊髄の障害における皮質脊髄路の可塑性
11:40 ~ 12:00	森 琢磨	信州大学	X連鎖性遺伝子CASKのモザイク分布が細胞機能および脳形態に与える影響
12:00 ~ 13:40	昼休憩 (100分) *12:40~13:40 総括班会議 (総括班員)		
13:40 ~ 14:00	田淵 克彦	信州大学	臨界期後の遺伝子操作による自閉症の社会行動異常改善に関する研究
14:00 ~ 14:20	実吉 岳郎	京都大学	シナプスタンパク質の生物学的相分離の操作による可塑性、臨界期誘導法の開発
14:20 ~ 14:40	竹居 光太郎	横浜市立大学	Nogo受容体アンタゴニストLOTUSによる神経可塑性誘導
14:40 ~ 15:00	山室 和彦	奈良県立医科大学	前頭前野局所回路の数理モデル構築によるニューロモデュレーション作用機序の解明
15:00 ~ 15:20	下條 雅文	量子科学技術研究開発機構	認知症モデル動物脳における回路障害
15:20 ~ 15:40	休憩 (20分)		
15:40 ~ 16:00	村松 里衣子	国立精神神経センター	免疫系のリターンによる神経機能への影響
16:00 ~ 16:20	金丸 隆志	工学院大学	臨界期のE-I balance下ネットワークによる時系列信号の保持
16:20 ~ 16:40	牛場 潤一	慶應義塾大学	ブレイン・マシン・インターフェースによる半球間抑制回路の機能操作
16:40 ~ 17:00	疋田 貴俊	大阪大学	認知学習と精神疾患病態の臨界期におけるドーパミン神経伝達機構の解析
17:00 ~ 17:15	総合討論		